

1. 教科書P10～11までの「情報の特徴」の問題です。教科書を読み、()に入る適切な語句を裏面の解答用紙に記入しなさい。

情報は、物理的な「もの」の世界とは異なるいくつかの特徴がある。一度作られた情報は、完全に消えることがない。この性質を〔①〕という。また、情報は、比較的簡単に複製できる。〔②〕をもっている。文字や音声、静止画、動画などの情報をデジタル化すると、劣化させずに大量に複製することが可能であるため、〔③〕を侵害しないように注意する。さらに、情報は、伝わり、広まりやすい〔④〕をもっている。現在では、新聞やテレビなどの〔⑤〕でなくても、インターネットのサービスを利用して、世界中に〔⑥〕化した大量の情報を瞬時に伝えることができる。

2. 教科書P12～P13までの『メディアの特徴』内の「メディアの機能」と「メディアの分類」の問題です。教科書を読み、()に入る適切な語句を裏面の解答用紙に記入しなさい。

発信者から受信者に情報が届けられる際に、関係したすべてのものが〔①〕である。〔①〕を3つの側面に分けると、情報を人々に伝えるための〔②〕がある。次に、文字、音声、画像など、伝えたい情報を表現するための〔③〕がある。さらに、情報を物理的に伝達するための〔④〕がある。この〔①〕の3つの側面がお互いに機能して、人に情報が伝えられる。

3. 教科書P14～P15までの「表現メディアの特性」の問題です。教科書を読み、()に入る適切な語句を裏面の解答用紙に記入しなさい。

情報を表現する文字や図形、音声、静止画、動画などのメディアには、それぞれの特性がある。具体的な量や日時、言葉の意味、法律・ルールなどは、〔①〕の方が正確に伝えやすい。一方、色や形など具体的なイメージや地図などの情報は、画像や〔②〕の方が適切かつ簡潔に伝えられる。

〔③〕などの聴覚情報は、どちらを向いていても受信できるが、〔④〕の制約を受ける側面がある。

平面上に表現する〔⑤〕の情報は、短時間で多くの情報を伝達できる。〔⑥〕は、連続した〔⑤〕による画像表現であり、動きのある情報を伝える時にふさわしいが、ほかの表現メディアに比べ、〔⑦〕が圧倒的に多い。また、音声と同様に〔④〕の制約を受けるという特性がある。

裏面へ続く ↓

4. 教科書 P 16 の「情報メディアの特性」の問題です。教科書を読み、（ ）に入る適切な語句を裏面の解答用紙に記入しなさい。

テレビやラジオ、新聞、雑誌、書籍、映画、電話、F A X、郵便、インターネットなど、情報を人々へ伝達するための情報メディアの中で、新聞や雑誌、ラジオ、テレビの

ように、特定の発信者から、不特定多数の受信者へ向けての情報伝達にかかわる情報メディアを[①]という。[①]は、おもに発信者側から受信者への[②]の情報伝達を行う。それに対して、電話やインターネットは、[③]の情報伝達が可能な情報メディアである。

1 年 社会と情報 課題 2 氏名 ()

1	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
2	①		②	
	③		④	
3	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦			
4	①		②	
	③			

1	①	残存性	②	複製性
	③	著作権	④	伝播性
	⑤	マスメディア	⑥	デジタル
2	①	メディア	②	情報メディア
	③	表現メディア	④	伝達メディア
3	①	文字	②	図形
	③	音	④	再生時間
	⑤	静止画	⑥	動画
	⑦	データ量		
4	①	マスメディア	②	一方向
	③	双方向		